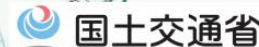


広域市町村が連携した新たな公共交通(大阪府富田林市等)

まちづくり×交通



事業実施主体

【共創プラットフォーム】

広域市町村が連携した新たな公共交通共創プラットフォーム

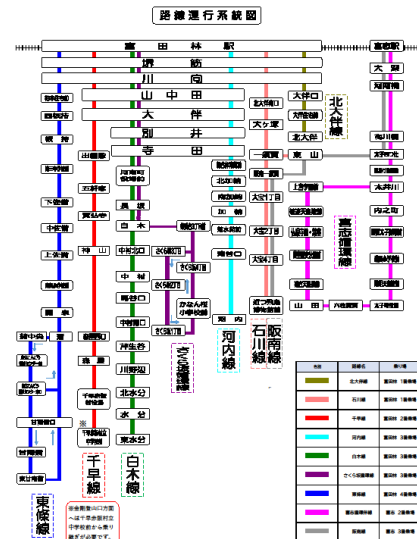
【実施主体】富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村地域公共交通活性化協議会

【共創パートナー】

富田林市・太子町・河南町・千早赤阪村(自治体)
近鉄バス株式会社・南海バス株式会社(交通)他

事業実施区域

富田林市の東部、及び太子町、河南町及び千早赤阪村の全域を網羅し、9路線を運行。



地域課題

金剛バスの事業廃止をきっかけに、「自治体コミュニティバス」方式による運行を行い、2024年問題にも対応した通勤通学等の日常の移動の足を確保し、少子高齢化にも対応した移動手段の確保することで、沿線地域の賑わいの創出、将来的にMaaSの構築を視野に入れた利便性向上を目指す。

実証事業の内容

4市町村による広域法定協議会が主体となり、地元の路線バス事業者の協力を得ながら、広域幹線及びそれらに接続するフィーダー路線を確立するとともに、デジタル化や共通運賃等のソフト面にも着手することで、来る2024年問題にも対応できる公共交通を確立。

今後の展開

実証運行により需要動向を把握したうえで必要に応じて路線の再編を実施し、運行実施可能な範囲での人繰りを鑑みて、実装を行うことを予定しているが、欠損部分に関しては、沿線市町村が設置する広域法定協議会が負担し、維持継続を目指す。

事業体制

広域法定協議会を実施主体としての全体像

